

統合開発環境 e2 studio

R20AN0286JJ0100

Rev.1.00

e2 studio での AgileReview の使用方法

2013.11.16

要旨

AgileReview はコードレビューのための Eclipse プラグインです。e2 studio は Eclipse をベースとした統合開発環境であり、Eclipse の多彩なプラグインを使用して種々のツールとの連携動作を実現することができます。このドキュメントでは AgileReview プラグインのインストール方法と使用方法について説明します。

目次

1. はじめに.....	2
1.1 e ² studio と AgileReview.....	2
1.2 動作確認環境.....	2
2. AgileReview プラグインのインストール.....	3
2.1 インストールの前提条件.....	3
2.2 AgileReview のインストール方法.....	3
3. 使用方法.....	7
3.1 e ² studio での AgileReview 操作のワーク・フロー.....	7
3.2 新規レビュー・ソース・プロジェクトの作成.....	7
3.2.1 新規レビュー・ソース・プロジェクトの作成.....	7
3.2.2 AgileReview Source Project をアクティブにする.....	8
3.3 新規レビューの作成.....	10
3.3.1 新規レビューの作成.....	10
3.3.2 レビューをアクティブにする.....	11
3.4 新規コメントの作成.....	11
3.5 コメントの修正.....	12
3.5.1 コメント情報の編集.....	12
3.5.2 コメントを元に戻す.....	13
3.5.3 コメントを移動する.....	14
3.6 コメントの削除.....	15
3.7 レビューの削除.....	16
3.8 コメントとレビューの共有.....	17
4. 参考情報.....	18
4.1 Web サイト.....	18
4.2 参照.....	18

1. はじめに

1.1 e² studio と AgileReview

e² studio は Eclipse をベースとした統合開発環境です。AgileReview プラグインは Eclipse のプラグインですので e² studio で動作します。AgileReview プラグインは e² studio で簡単にコードレビューできるように、使いやすいユーザー・インターフェースを提供します。e² studio で AgileReview を使用して、コメントやコードに関して議論することができます。

1.2 動作確認環境

本ドキュメントで説明する操作については弊社にて以下の環境で確認をしています。

e ² studio:	2.1.0
AgileReview:	0.8.4
OS:	Windows 7 (日本語環境)

2. AgileReview プラグインのインストール

2.1 インストールの前提条件

本章では AgileReview プラグインのインストール方法を説明しますが、その前に以下の事前準備が整っているものとします:

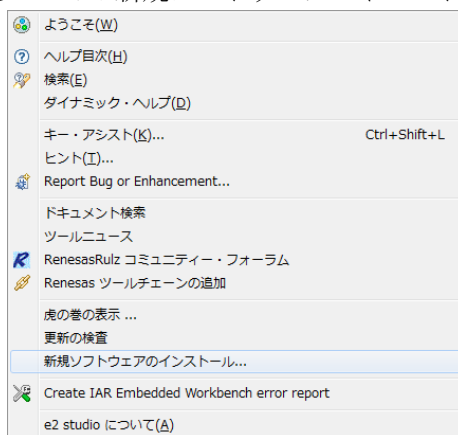
- e² studio が正しくインストールされていること
このドキュメントでは e² studio のインストール方法については説明しません。

2.2 AgileReview のインストール方法

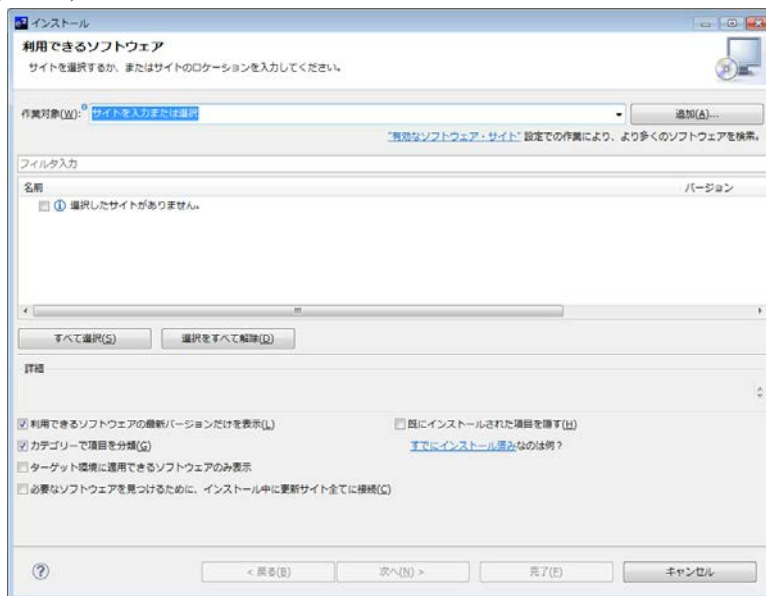
AgileReview は e² studio のアップデート・マネージャーから簡単にインストールすることができます。アップデート・マネージャーでリモートあるいはローカルのアップデートサイトを指定するだけです。

インストール手順は:

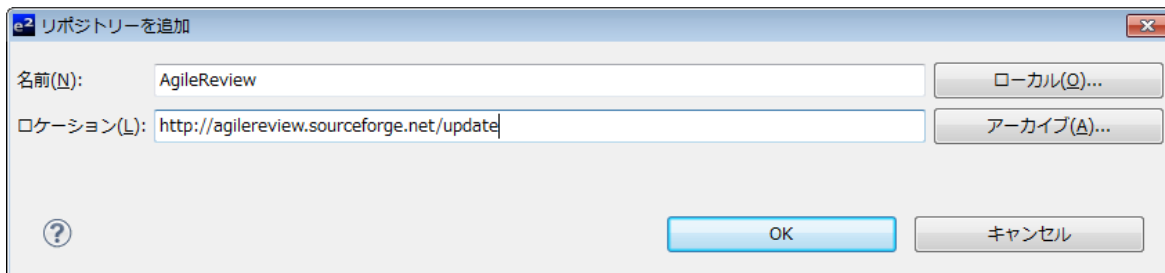
1. e2studio を起動し、メニューから 'ヘルプ>新規ソフトウェアのインストール...' を選択します。



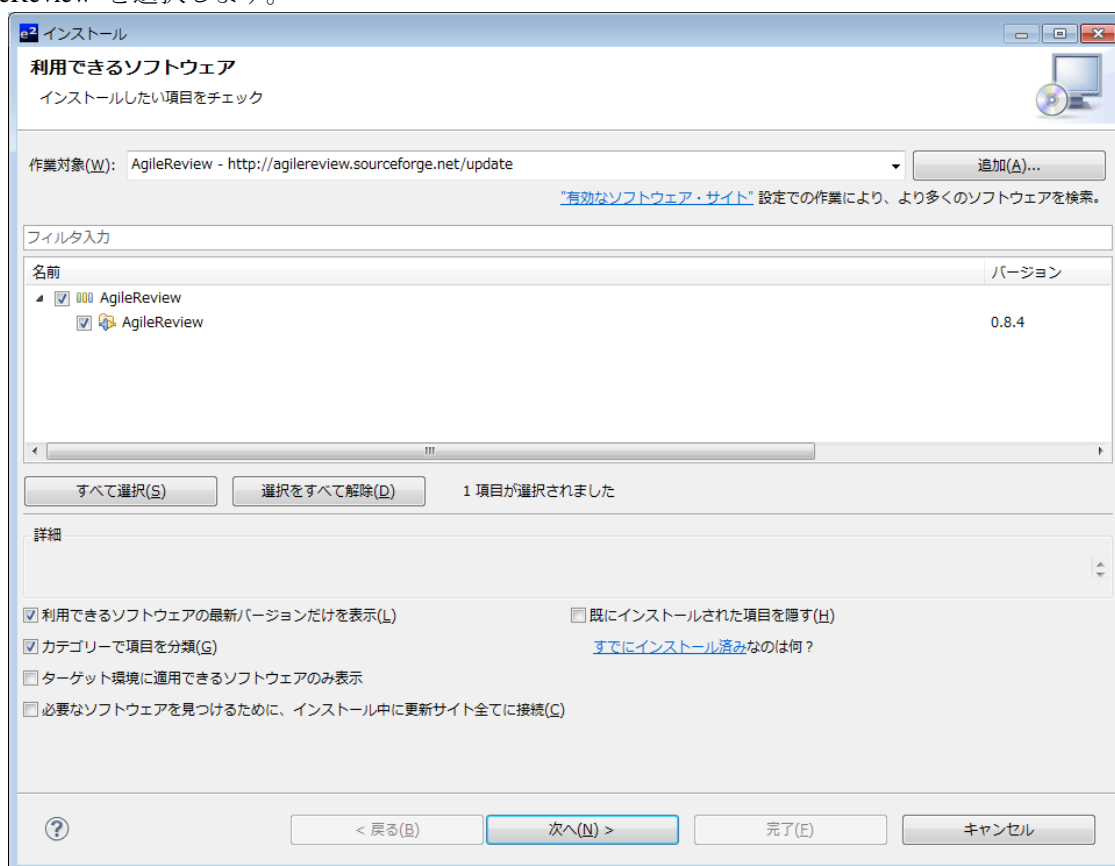
2. '追加ボタン...' を押します



3. 'リポジトリを追加'ダイアログで AgileReview アップデートサイトの URL を入力します。
(<http://agilereview.sourceforge.net/update> で見つかります)

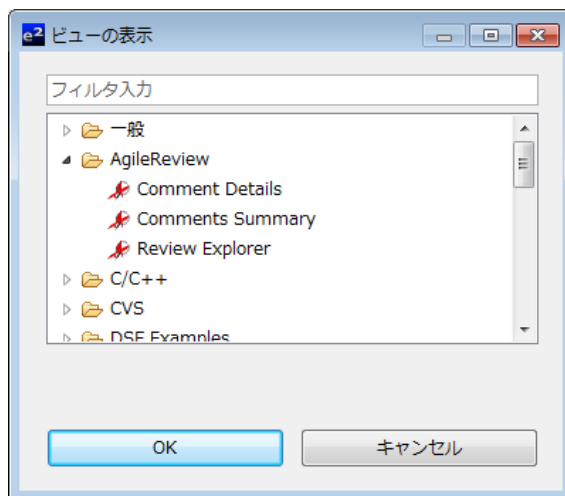


4. AgileReview を選択します。

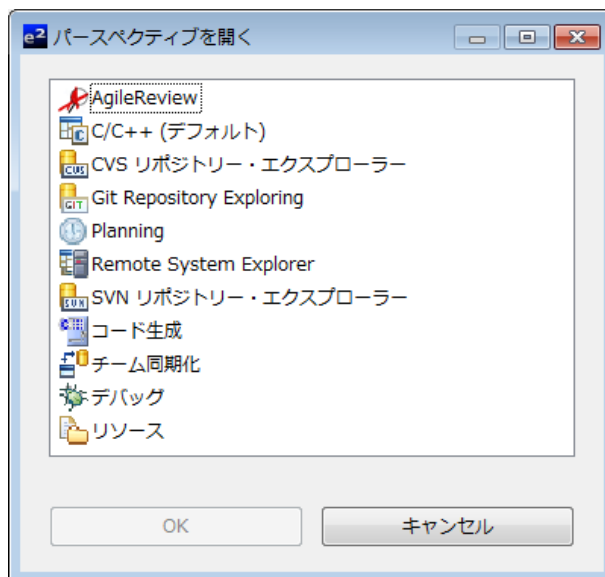


6. '次へ'のボタンを押します。
7. ライセンス・テキストを読み '使用条件の条項に同意します' を選択し '完了' ボタンを押します。
8. インストールを有効にするには e² studio を再起動する必要がある旨の表示が出ますので 'はい' を押しします。

9. AgileReview パースペクティブと AgileReview ビューが対応するダイアログに表示されます。
- AgileReview ビューをオープンするには: 'ウィンドウ' > 'ビューの表示' > 'その他...' > AgileReview を選択します。

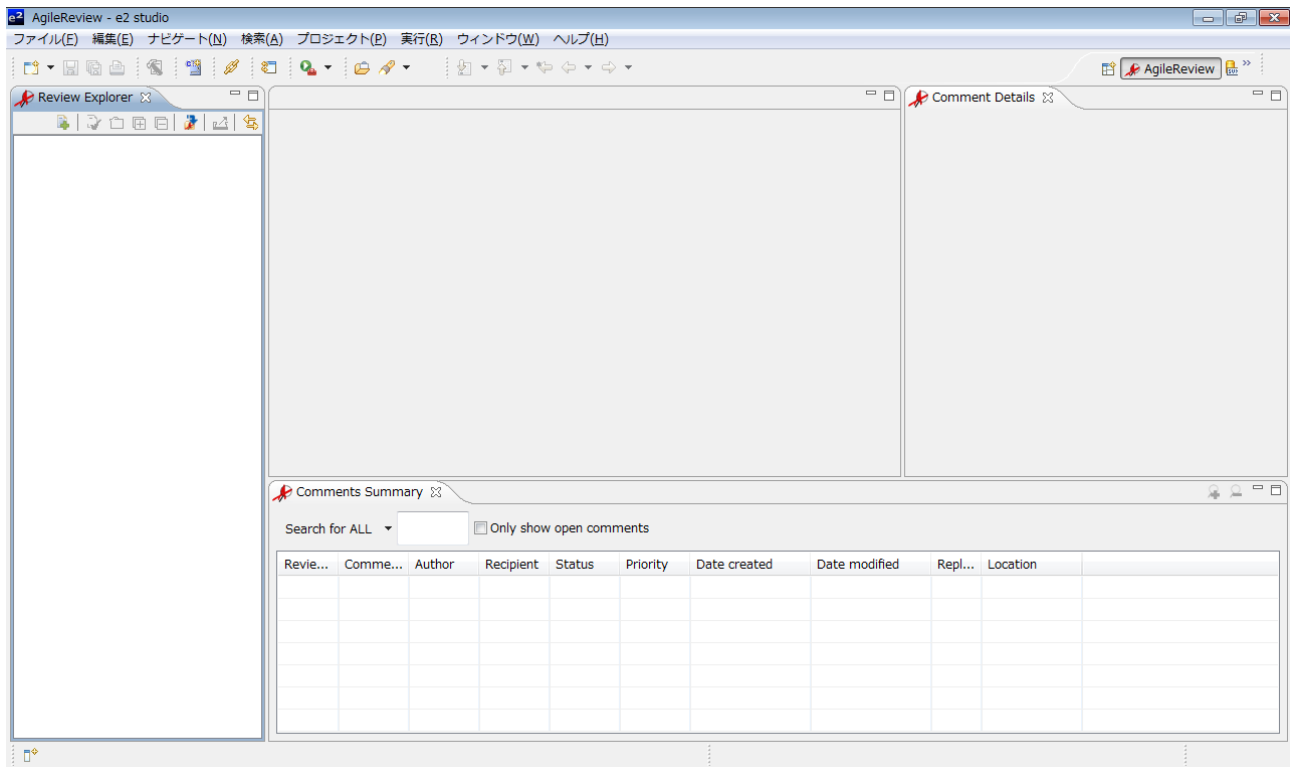


- AgileReview パースペクティブをオープンするには: 'ウィンドウ' > 'パースペクティブを開く' > 'その他...' > AgileReview を選択します。



AgileReview のパースペクティブは3つのビューを含みます。:

- Review Explorer
- Comments Summary
- Comment Details



3. 使用方法

3.1 e² studio での AgileReview 操作のワーク・フロー

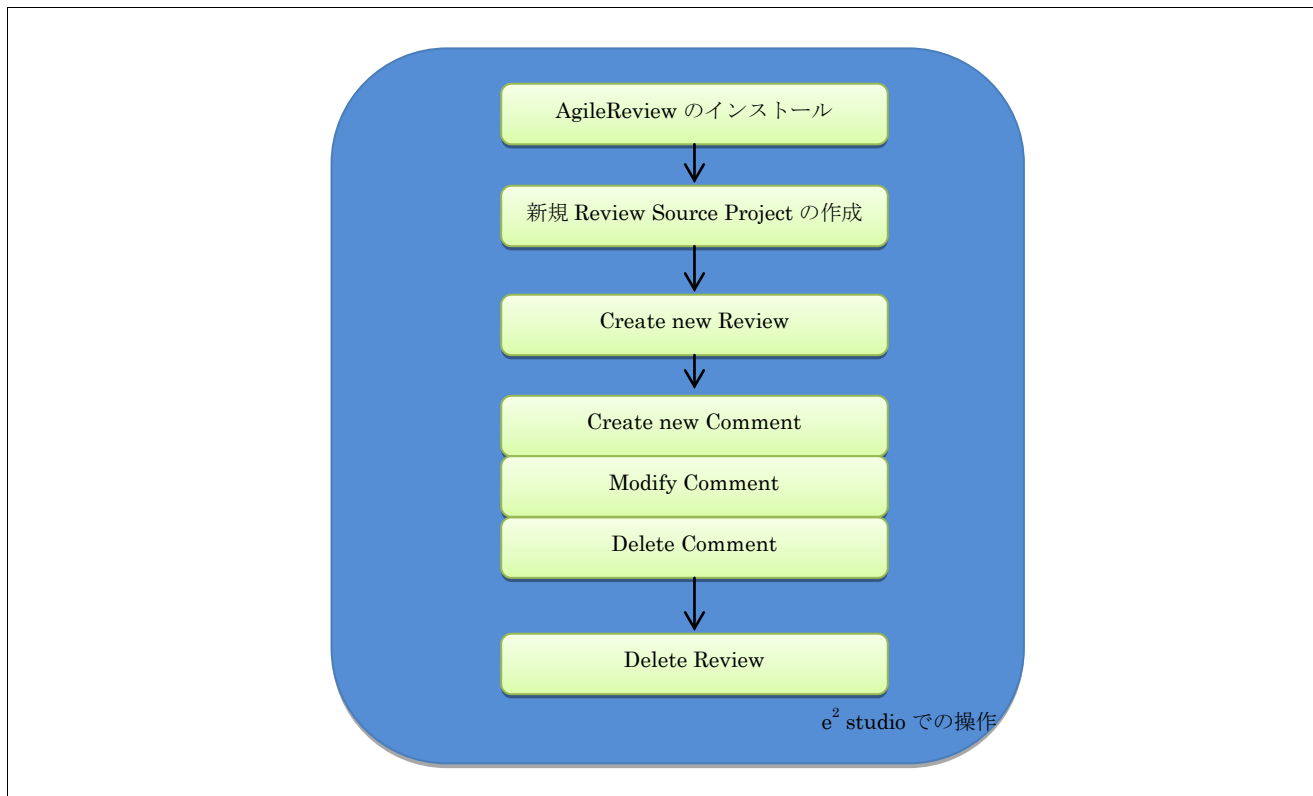


図 1: e2 studio での AgileReview 操作のワーク・フロー

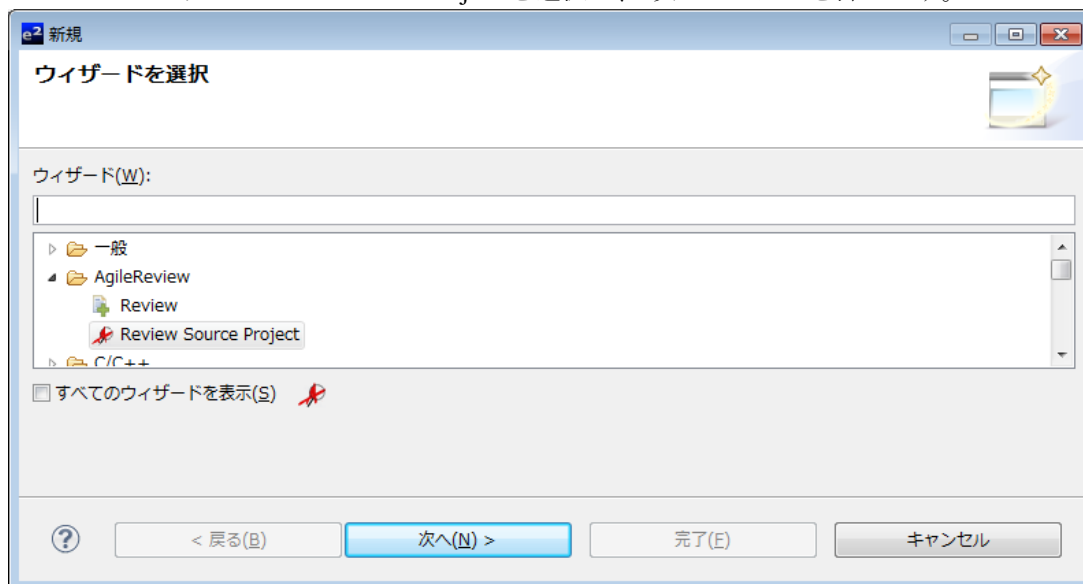
3.2 新規レビュー・ソース・プロジェクトの作成

3.2.1 新規レビュー・ソース・プロジェクトの作成

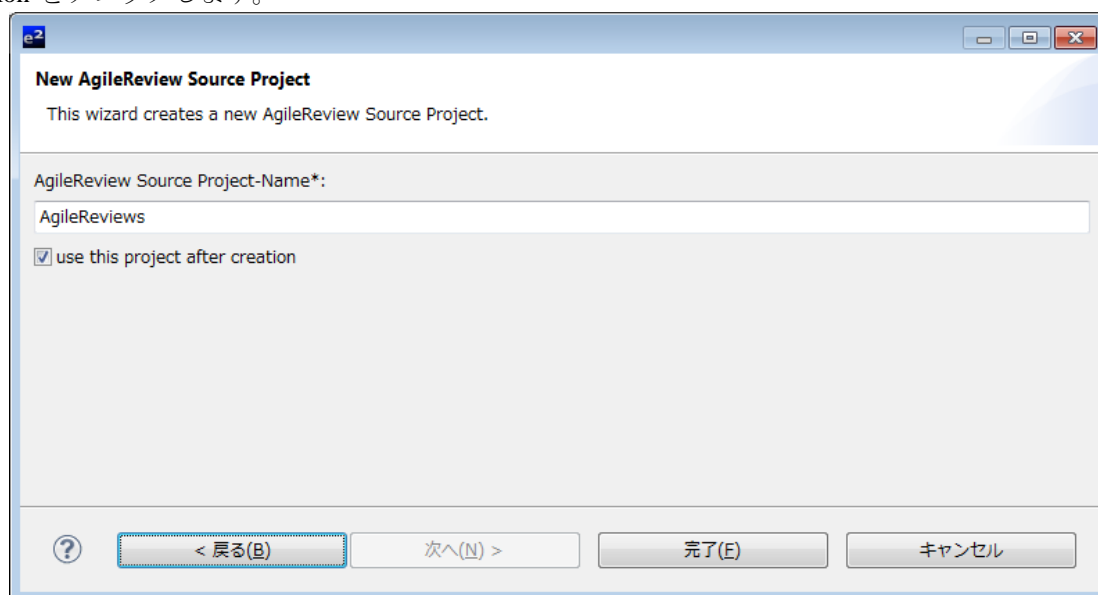
レビューとコメントはレビュー・ソース・プロジェクトに保管されます。

レビュー・ソース・プロジェクトを作成するには:

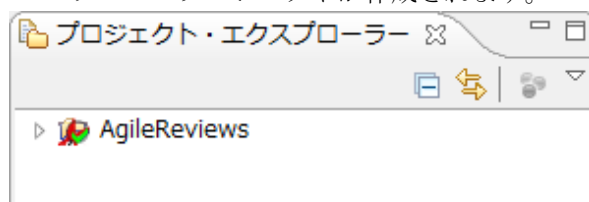
1. e² studio のメニューで‘ファイル’>‘新規’>‘その他...’を選択すると、‘新規’ダイアログが表示されます。
‘AgileReview’ カテゴリで ‘Review Source Project’ を選択し、‘次へ>’ ボタンを押します。



- AgileReview source project の名前を入力し、プロジェクトをアクティブにするために‘use this project after creation’をチェックします。



- 完了'ボタンを押すとレビュー・ソース・プロジェクトが作成されます。

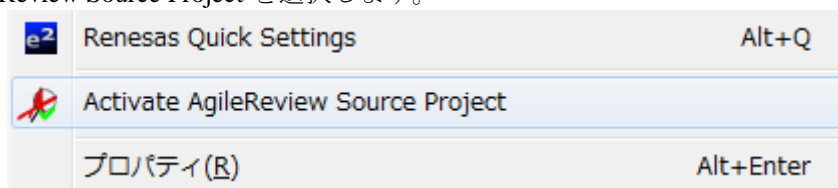


3.2.2 AgileReview Source Project をアクティブにする

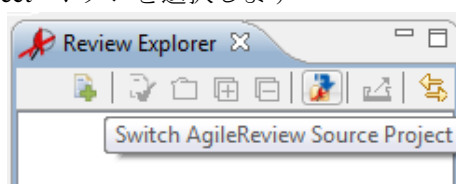
新しいレビューを作成すると、レビューはアクティブな AgileReview Source Project に追加されます。

AgileReview Source Project をアクティブにするには:

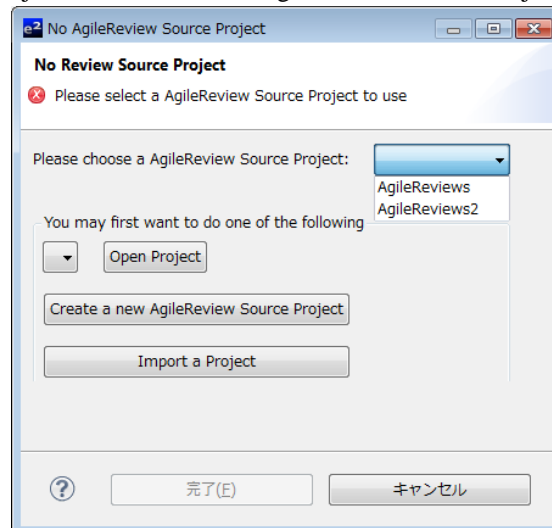
- ‘プロジェクト・エクスプローラー’ビューで:
 - アクティブでない AgileReview source project を選択して、右クリックしてコンテキストメニューを開き、‘Active AgileReview Source Project’を選択します。



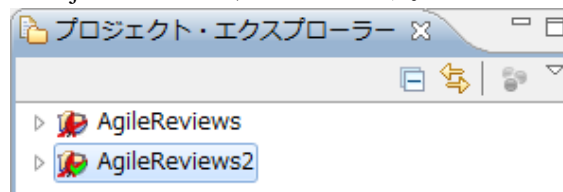
- ‘Review Explorer’ビューで:
 - ‘Switch AgileReview Source Project’ ボタンを選択します



2. ‘No AgileReview Source Project’ダイアログで、AgileReview Source Project を選択します。



3. 選択した AgileReview Source Project がアクティブになります。

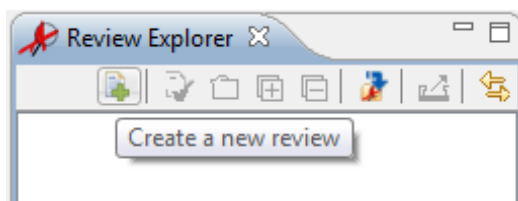


3.3 新規レビューの作成

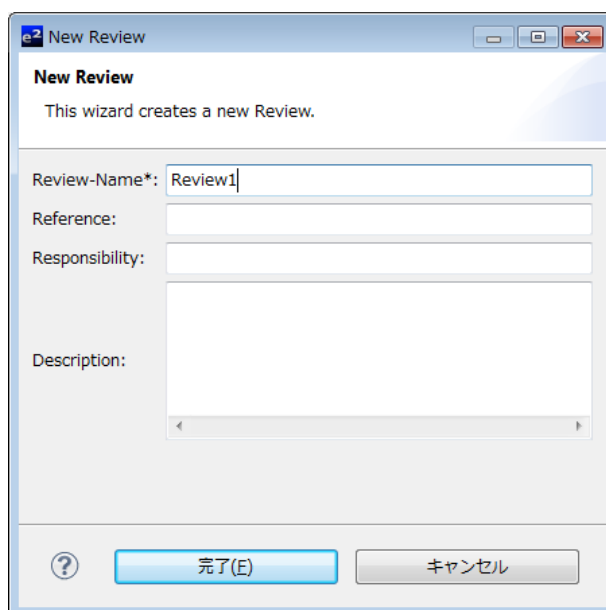
3.3.1 新規レビューの作成

レビューは一組のコメントです。さらに、レビューは担当者やレビューそのものに関する情報を含んでいます。レビューを作成するには:

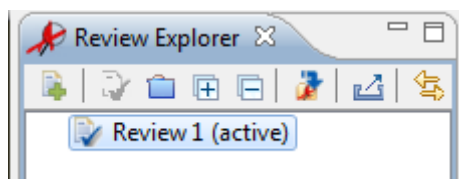
1. e² studio のメニューバーで 'ウィンドウ' > 'パースペクティブを開く' > 'その他...' > 'AgileReview' を選択します。
2. 'Review Explorer'ビューで、コンテキスト・メニューの'Create new review'を選ぶか、ツールバーの'Create a new review' ボタンを押してください。



3. 'New Review' ダイアログで、レビューの名前を'Review-Name*:' テキストボックスに入力してください。



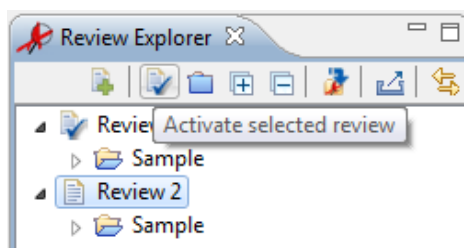
4. '完了' ボタンを押して終了します。



3.3.2 レビューをアクティブにする

アクティブなレビューにコメントを追加しなければいけません。

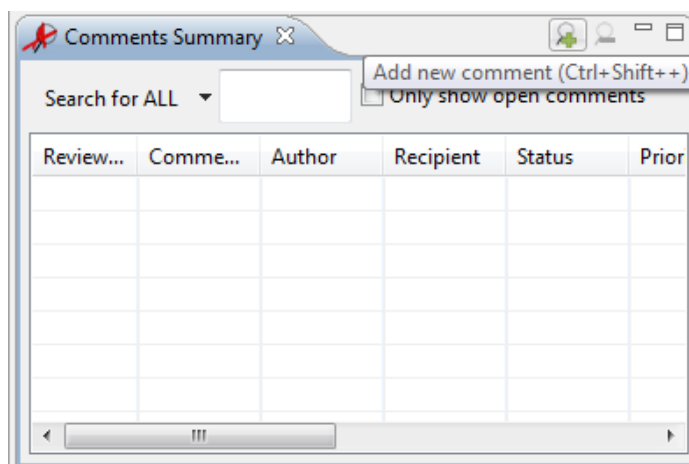
レビューをアクティブにするには: 'Review Explorer' ビューでアクティブでないレビューを選択し、'Activate selected review' ボタンを押します。



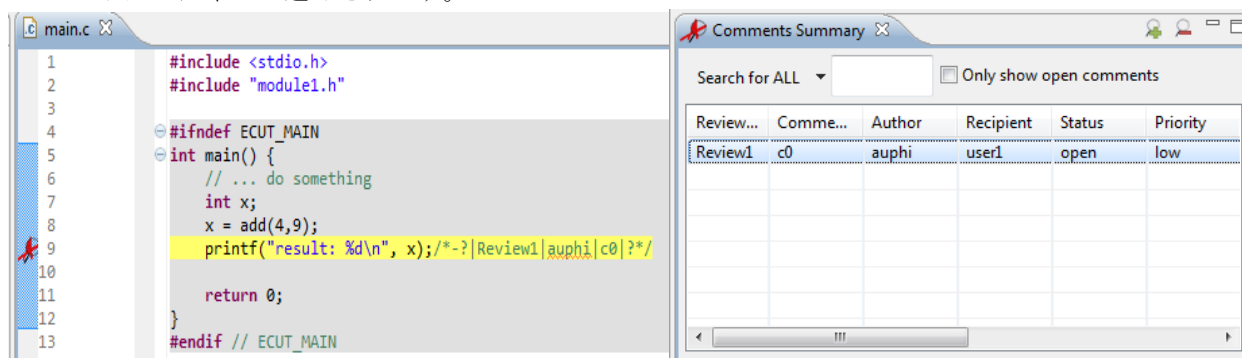
3.4 新規コメントの作成

新しいコメントを作成するには:

1. e² studio のエディタで、コメントを書く行/セクションを選択します。
2. 'Comments Summary'ビューをオープンし、ツールバーの 'Add new comment (Ctrl+Shift++)' ボタンを押すか、'Ctrl + Shift + +' キーを押します。



3. コメントはエディタで追加されます。

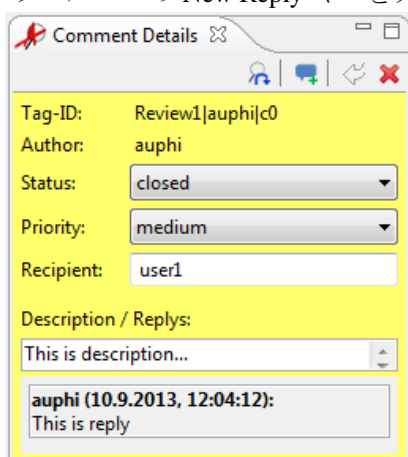


3.5 コメントの修正

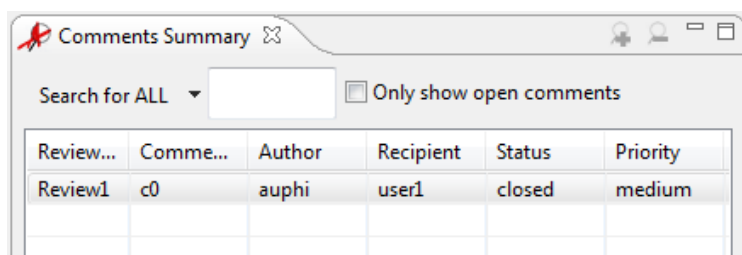
3.5.1 コメント情報の編集

コメントの情報を編集するには:

1. 'Comment Details'ビューでコメントをオープンします。
2. 'Comment Details'ビューで、コメントの情報を編集します:
 - a. Status: コメントの状態を編集します
 - b. Priority: コメントの優先順位を設定します
 - c. Recipient: 受け取り人を入力します
 - d. Description: 説明を入力します
 - e. 'Alt + Shift + '+'キーを押すか、ツールバーの'New Reply'キーをクリックして返答を追加します。



3. 'Comment Details'ビューをぬけると編集が保存されます。'Comments Summary'ビューが更新されます。

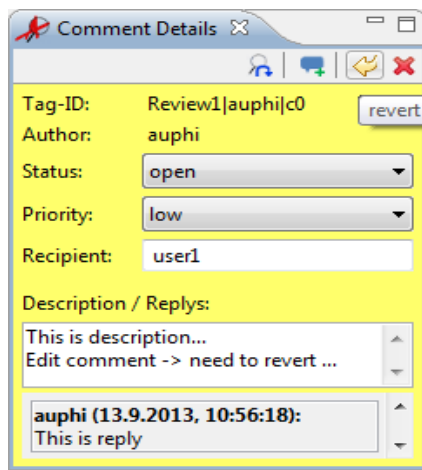


3.5.2 コメントを元に戻す

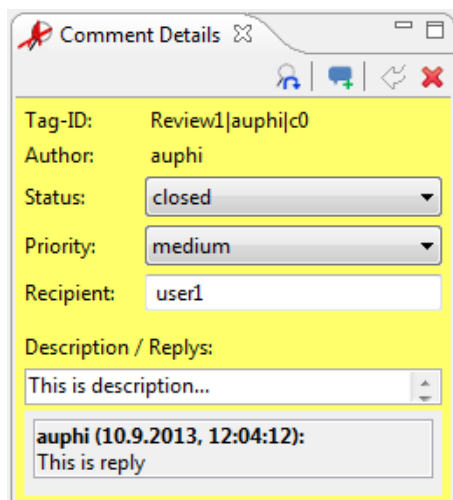
コメントを編集すると 'revert' ボタンが有効になります。'revert' ボタンを押すと、コメントは前の情報に戻ります(編集前の情報)。

コメントを元に戻すには:

1. 'Comment Details' ビューでコメントを開きます。コメントの情報を編集します。
2. 'revert' ボタンを押します。



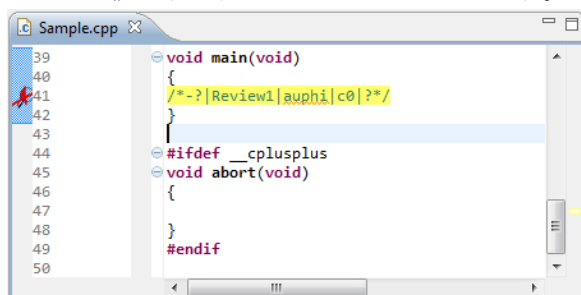
3. コメントが元に戻ります。



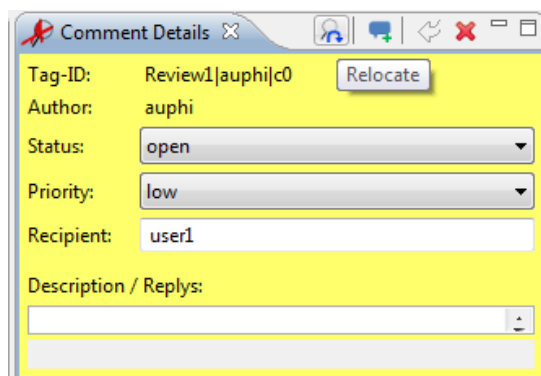
3.5.3 コメントを移動する

コメントを移動するには:

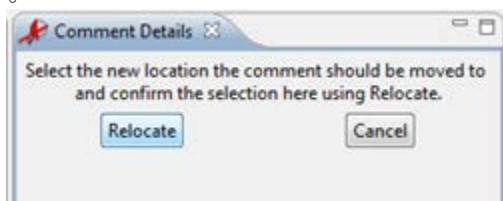
1. e² studio のエディタで、コメントを移動する行/セクションを選択します。



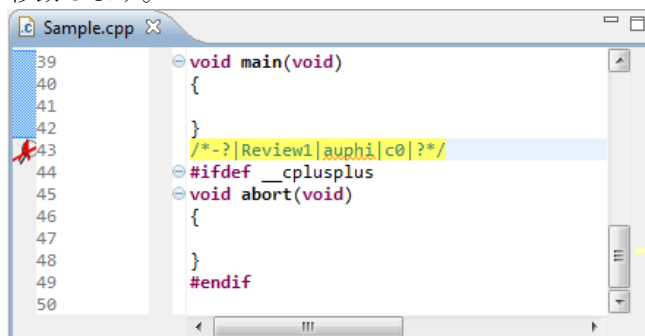
2. 'Comment Details'ビューで移動するコメントを開きます。ツールバーの'Relocate' ボタンをクリックします。



3. 'Relocate'ボタンを選択します。



4. コメントは新しい位置に移動します。

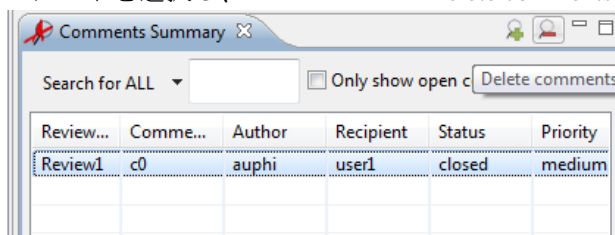


3.6 コメントの削除

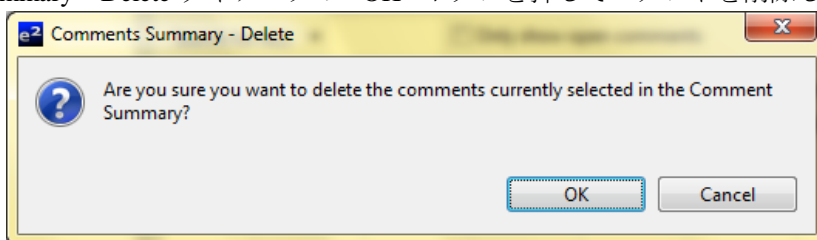
‘Comments Summary’ビューか ‘Comment Details’ビューでコメントを削除できます。

- ‘Comments Summary’ビューで:

1. コメント・テーブルでコメントを選択し、ツールバーの ‘Delete comments’ ボタンを押します。

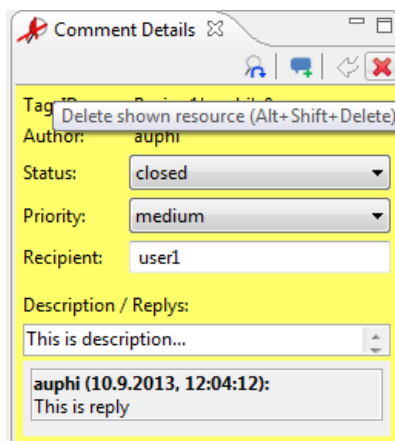


2. ‘Comments Summary – Delete’ダイアログの ‘OK’ ボタンを押してコメントを削除します。

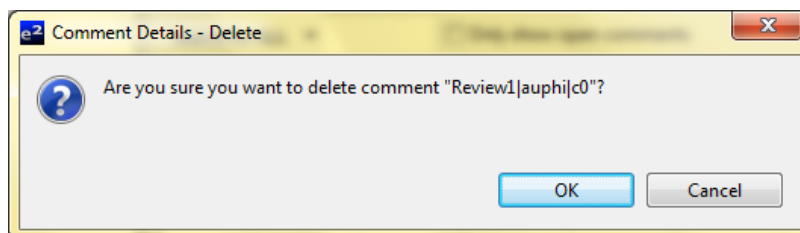


- ‘Comment Details’ビューで

1. ‘Comment Details’ビューでコメント開き、ツールバーの‘Delete shown resource (Alt+Shift+Delete)’ボタンを押します。



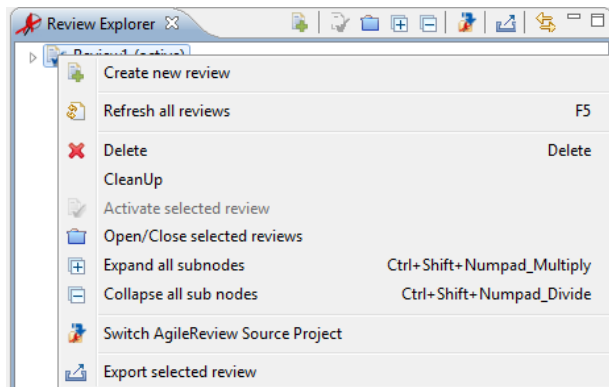
2. ‘Comment Details – Delete’ ダイアログの ‘OK’ ボタンを押してコメントを削除します。



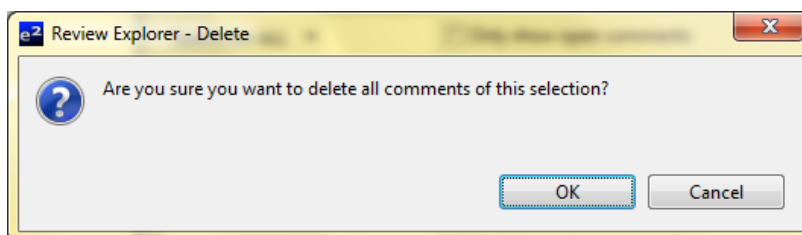
3.7 レビューの削除

レビューを削除するには:

1. 'Review Explorer' ビューで右クリックしてコンテキストメニューを開き、Delete を選択します。



2. 'Review Explorer - Delete' ダイアログの'OK' ボタンを押してレビューを削除します。



3.8 コメントとレビューの共有

Eclipse Subversive プラグインと組み合わせて、SVN を使用して、コメントとレビューを共有できます。

1. レビューデータを格納しているレビュー・ソース・プロジェクトを選択してください。
2. コンテキスト・メニューの‘Team’>‘プロジェクトの共有’を選択してください。既存の SVN リポジトリでプロジェクトを共有してください。このステップは任意の SVN ツールを使用して行うことができます (コマンドライン・ツール、Tortoise、RabbitVCS、…)
3. コメントされたコードをコミットしてください。

他のレビューワーはコードとレビュー・ソース・プロジェクトをチェックアウトしてレビューに参加することができます。

レビューを続ける前に、必ず以下を実施して下さい。

- a). プロジェクト・エクスプローラーでレビュー・ソース・プロジェクトとコメントしたファイルを選択して、コンテキスト・メニューの‘Team’>‘コミット’で SVN リポジトリにコミットしてください。
- b). レビューデータを含むレビュー・ソース・プロジェクトとレビューするファイルを、コンテキスト・メニューの‘Team’>‘更新’で更新してください。

他の開発者が、コメントやレビューを加えるかもしれないので。

4. 参考情報

4.1 Web サイト

AgileReview のホームページ URL:

<http://www.agilereview.org>

Eclipse AgileReview プラグインのホームページ URL:

<http://marketplace.Eclipse.org/content/agilereview/metrics>

4.2 参照

“Agile Review – User Guide – v0.8.1”

<http://www.agilereview.org/wp-content/uploads/2012/04/quickstart.pdf>

ホームページとサポート窓口

ルネサス エレクトロニクスホームページ

<http://japan.renesas.com/>

お問い合わせ先

<http://japan.renesas.com/contact/>

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。

製品ご使用上の注意事項

ここでは、マイコン製品全体に適用する「使用上の注意事項」について説明します。個別の使用上の注意事項については、本ドキュメントおよびテクニカルアップデートを参照してください。

1. 未使用端子の処理

【注意】未使用端子は、本文の「未使用端子の処理」に従って処理してください。

CMOS製品の入力端子のインピーダンスは、一般に、ハイインピーダンスとなっています。未使用端子を開放状態で動作させると、誘導現象により、LSI周辺のノイズが印加され、LSI内部で貫通電流が流れたり、入力信号と認識されて誤動作を起こす恐れがあります。未使用端子は、本文「未使用端子の処理」で説明する指示に従い処理してください。

2. 電源投入時の処置

【注意】電源投入時は、製品の状態は不定です。

電源投入時には、LSIの内部回路の状態は不確定であり、レジスタの設定や各端子の状態は不定です。

外部リセット端子でリセットする製品の場合、電源投入からリセットが有効になるまでの期間、端子の状態は保証できません。

同様に、内蔵パワーオンリセット機能を使用してリセットする製品の場合、電源投入からリセットのかかる一定電圧に達するまでの期間、端子の状態は保証できません。

3. リザーブアドレス（予約領域）のアクセス禁止

【注意】リザーブアドレス（予約領域）のアクセスを禁止します。

アドレス領域には、将来の機能拡張用に割り付けられているリザーブアドレス（予約領域）があります。これらのアドレスをアクセスしたときの動作については、保証できませんので、アクセスしないようにしてください。

4. クロックについて

【注意】リセット時は、クロックが安定した後、リセットを解除してください。

プログラム実行中のクロック切り替え時は、切り替え先クロックが安定した後に切り替えてください。

リセット時、外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックで動作を開始するシステムでは、クロックが十分安定した後、リセットを解除してください。また、プログラムの途中で外部発振子（または外部発振回路）を用いたクロックに切り替える場合は、切り替え先のクロックが十分安定してから切り替えてください。

5. 製品間の相違について

【注意】型名の異なる製品に変更する場合は、製品型名ごとにシステム評価試験を実施してください。

同じグループのマイコンでも型名が違っていると、内部ROM、レイアウトパターンの相違などにより、電気的特性の範囲で、特性値、動作マージン、ノイズ耐量、ノイズ輻射量などが異なる場合があります。型名が違う製品に変更する場合は、個々の製品ごとにシステム評価試験を実施してください。

ご注意書き

1. 本資料に記載された回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報は、半導体製品の動作例、応用例を説明するものです。お客様の機器・システムの設計において、回路、ソフトウェアおよびこれらに関連する情報を使用する場合には、お客様の責任において行ってください。これらの使用に起因して、お客様または第三者に生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
2. 本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。
3. 本資料に記載された製品データ、図、表、プログラム、アルゴリズム、応用回路例等の情報の使用に起因して発生した第三者の特許権、著作権その他の知的財産権に対する侵害に関し、当社は、何らの責任を負うものではありません。当社は、本資料に基づき当社または第三者の特許権、著作権その他の知的財産権を何ら許諾するものではありません。
4. 当社製品を改造、改変、複製等しないでください。かかる改造、改変、複製等により生じた損害に関し、当社は、一切その責任を負いません。
5. 当社は、当社製品の品質水準を「標準水準」および「高品質水準」に分類しており、各品質水準は、以下に示す用途に製品が使用されることを意図しております。
標準水準： コンピュータ、OA機器、通信機器、計測機器、AV機器、家電、工作機械、パーソナル機器、産業用ロボット等
高品質水準： 輸送機器（自動車、電車、船舶等）、交通用信号機器、防災・防犯装置、各種安全装置等
当社製品は、直接生命・身体に危害を及ぼす可能性のある機器・システム（生命維持装置、人体に埋め込み使用するもの等）、もしくは多大な物的損害を発生させるおそれのある機器・システム（原子力制御システム、軍事機器等）に使用されることを意図しておらず、使用することはできません。たとえ、意図しない用途に当社製品を使用したことによりお客様または第三者に損害が生じても、当社は一切その責任を負いません。なお、ご不明点がある場合は、当社営業にお問い合わせください。
6. 当社製品をご使用の際は、当社が指定する最大定格、動作電源電圧範囲、放熱特性、実装条件その他の保証範囲内でご使用ください。当社保証範囲を超えて当社製品をご使用された場合の故障および事故につきましては、当社は、一切その責任を負いません。
7. 当社は、当社製品の品質および信頼性の向上に努めていますが、半導体製品はある確率で故障が発生したり、使用条件によっては誤動作したりする場合があります。また、当社製品は耐放射線設計については行っておりません。当社製品の故障または誤動作が生じた場合も、人身事故、火災事故、社会的損害等を生じさせないよう、お客様の責任において、冗長設計、延焼対策設計、誤動作防止設計等の安全設計およびエージング処理等、お客様の機器・システムとしての出荷保証を行ってください。特に、マイコンソフトウェアは、単独での検証は困難なため、お客様の機器・システムとしての安全検証をお客様の責任で行ってください。
8. 当社製品の環境適合性等の詳細につきましては、製品個別に必ず当社営業窓口までお問合せください。ご使用に際しては、特定の物質の含有・使用を規制するRoHS指令等、適用される環境関連法令を十分調査のうえ、かかる法令に適合するようご使用ください。お客様がかかる法令を遵守しないことにより生じた損害に関して、当社は、一切その責任を負いません。
9. 本資料に記載されている当社製品および技術を国内外の法令および規則により製造・使用・販売を禁止されている機器・システムに使用することはできません。また、当社製品および技術を大量破壊兵器の開発等の目的、軍事利用の目的その他軍事用途に使用しないでください。当社製品または技術を輸出する場合は、「外国為替及び外国貿易法」その他輸出関連法令を遵守し、かかる法令の定めるところにより必要な手続を行ってください。
10. お客様の転売等により、本ご注意書き記載の諸条件に抵触して当社製品が使用され、その使用から損害が生じた場合、当社は何らの責任も負わず、お客様にご負担して頂きますのでご了承ください。
11. 本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾を得ることなく転載または複製することを禁じます。

注1. 本資料において使用されている「当社」とは、ルネサス エレクトロニクス株式会社およびルネサス エレクトロニクス株式会社とその総株主の議決権の過半数を直接または間接に保有する会社をいいます。

注2. 本資料において使用されている「当社製品」とは、注1において定義された当社の開発、製造製品をいいます。



ルネサス エレクトロニクス株式会社

■営業お問合せ窓口

<http://www.renesas.com>

※営業お問合せ窓口の住所は変更になることがあります。最新情報につきましては、弊社ホームページをご覧ください。

ルネサス エレクトロニクス株式会社 〒100-0004 千代田区大手町2-6-2（日本ビル）

■技術的なお問合せおよび資料のご請求は下記へどうぞ。
総合お問合せ窓口：<http://japan.renesas.com/contact/>